



めざせ!! 地域のヒーロー 消防団

問合せ
防災課地域防災係

消防団協力事業所 インタビュー



従業員の人が消防団に入団することは、事業所にとってもさまざまなメリットがあります。

今回は事業所の生の声をお聞きするため、消防団協力事業所の(株)平松木型製作所代表取締役の平松稔孝氏にお話を伺いました。



●御社が代表取締役自ら消防団員として活躍していただくようになったきっかけを教えてください。

私自身の消防団人生は、平成11年から2年間消防団員として活動したことから始まります。地区の役員さんから声をかけていただいたことがきっかけで、地域の役に立ちたいとの思いから入団しました。その後、消防団幹部であった同級生の誘いを受け、平成25年から消防団幹部として活動を再開しました。

●消防団幹部としての経験から得た自身の変化はありますか。

消防団を通じて多くの経験をし、「地域を守る」という目標を共有する仲間を得たことが私の大きな財産となっています。また、地区や企業からお預かりした団員は、年齢も職業も違います。団員たちを消防団活動のなかで成長させ、地区や企業に貢献できる人材としてお返しする責任は非常に重いです。まず、私自身が一生懸命に消防団活動に取り組む姿を団員に示し、団員をまとめ、それぞれの能力を最大に発揮してもらうための環境作りを重視しています。この経験は、弊社の経営にも通じるものであり、大いに役立つと思います。

●消防団員として活動するにあたり、就業時間中であっても、有事の際には出勤することもありますか。どうお考えですか。また、会社として支援していることはありますか。

弊社には、私だけでなく、他市で消防団活動をしている社員がいます。社内の支援があつてこそ消防団活動が行えることは言うまでもありません。消防団活動をしていると、有事の際には、長時間業務を空けることもあります。そのため、消防団は地域を守る重要な役割を担っていることを社内で周知しており、有事の際は温かく送り出せるような環境作りをしていますし、私自身も送り出してもらっています。

●消防団に求めることはありますか。

消防団経験者を増やすことは重要だと考えています。災害に対応できる能力を持った若者は、企業の防災力を高めるだけでなく、地域の防災力の要として活躍することが期待できます。また、消防団員には、地域の様々な活動に取組み、地域に根付きながら、地域の中心となる人材になってもらいたいと強く願います。



△非常招集訓練の様子